

日本政策投資銀行による当社米国子会社への出資に関するお知らせ

ニプロ株式会社(本社:大阪府摂津市、代表取締役社長:山崎 剛司)は、当社米国子会社の Spryte Medical Holdings, LLC(本社:米国マサチューセッツ州、以下「Spryte」)が、株式会社日本政策投資銀行(以下、「DBJ」)より出資を受けることとなりましたので、お知らせいたします。

Spryte は、脳血管領域における血管内画像診断技術の開発を進めております。2026年3月18日付の当社リリース「米国における脳血管内 OCT イメージングシステムの臨床試験開始のお知らせ」で公表の通り、世界初^{※1}の脳血管内(Neuro)OCT イメージングシステム^{※2}について、脳動脈瘤治療患者を対象とした臨床試験を開始しております。本試験は昨年11月に米国食品医薬品局(FDA)より治験医療機器の適用免除(IDE)^{※3}の承認を受けた臨床試験です。また、本システムは FDA よりブレイクスルーデバイス(革新的医療機器)に指定されており、脳動脈瘤等の重篤な脳血管疾患に対する新たな画像診断技術として、FDA の優先的支援のもと開発が進められています。

DBJは、「金融力で未来をデザインします」をミッションに掲げ、持続可能な社会の実現のために、日本の産業発展や社会課題の解決に取り組む政府系金融機関です。Spryte による革新的な医療機器の臨床試験を着実に推進し、開発を加速させていくためには、相応の資金需要が見込まれる中、今回の DBJ による出資は、日系企業発の先端医療技術をグローバルに展開する取り組みが日本のヘルスケア産業の国際競争力強化に資する点も含め、その社会的意義が評価されたものであり、臨床試験を含む開発の推進や将来的な市場導入に向けた取り組みを支援するものです。

当社としては、Spryte の技術開発と事業化を引き続き主体的に推進しつつ事業基盤の更なる強化と成長機会の拡大を図ってまいります。

Spryte および nOCT 技術の詳細については、www.sprytemedical.com をご覧ください。

※1 参考文献:

科学雑誌『Science』、[15 May 2024・アメリカ科学振興協会 (American Association for the Advancement of Science, AAAS) 出版]

※2 脳血管内 OCT(=Neuro Optical Coherence Tomography (nOCT)) イメージングシステム:

脳の血管内を高精度に可視化できる画像診断技術(光干渉断層撮影技術)

※3 IDE (Investigational Device Exemption):

医療機器の承認申請に向けての臨床試験実施を許可する米国 FDA の制度

Spryte について：

Spryte は、米国マサチューセッツ州ベッドフォードに本社を置く血管内イメージング、AI およびデータ企業です。独自のイメージングおよびデータプラットフォームは、標的疾患の理解を加速させ、新規治療法の開発を支援し、最適な治療提供のための情報提供を目的として設計されており、世界中の患者さんの利益に貢献します。

ニプログループは、今後とも血管内治療分野における技術革新を推進するとともに、患者さんの治療選択肢の拡充に貢献してまいります。

お問い合わせ先

ニプロ株式会社コーポレートコミュニケーション部 PR室 TEL 06-6310-6650

※受付時間:9 時～17 時 45 分(土・日・祝日・当社休業日を除く)

このニュースリリースは、報道関係者や株主・投資家等の皆さまを含む多くのステークホルダーに対し、当社の企業活動に関する情報やその取組み概要について、公平かつ適切なタイミングで提供することを目的としています。

文中に含まれる当社取扱製品やサービスに関する情報は顧客誘引や医学的アドバイスを意図するものではありません。